

## 分科会6

友達・仲間とのかかわりでよさが深まる表現活動

# 中学校最後の美術 ～作る過程 も作品の一部となる題材～

東京都 中野区立第二中学校 猪口 正和

### ■ 提案発表の内容の要旨

かねてから3年生最後の題材について考えていた。義務教育の最後であり、生徒によっては、高校に進学し芸術で美術を選択しなかった場合、学校で美術を学ぶ最後の機会となる。

3年間ともに過ごした仲間との残り少ない時間を大切にしつつ、ものづくりそのものの楽しさや完成の充実感を味わうことができる。準備が容易で、卒業式までの変則的な時間割にも対応でき、かつ短時間でも仕上がる。シンプルに仕上げる事もできれば、こだわる気持ちがあれば細部を拘ることもできる。そんな題材を探していたところ、この「カレッジリング」という題材と出会った。

カレッジリングとはもともとは欧米の文化で、大学を卒業するとき贈られる、その大学のオリジナルリングである。その「卒業記念リング」というコンセプトを土台に、中学生が愛着をもって制作に向かい、完成したものを慈しめるようにアレンジを加えた。

準備 ・グラインダーで穴を開けた丸い木片  
・リングスケール  
・糸鋸、棒ヤスリ、紙ヤスリ  
・ベルトサンダー  
・アクリル絵の具、ニス

手順 ①どの指にはめるか決める。  
②自分の指輪のサイズをリングスケールで測る。  
③アイデアスケッチをする。幅や厚みを考慮する。  
④棒ヤスリや糸鋸で木片の中心の穴を自分のサイズに広げる。  
⑤ベルトサンダー、糸鋸で幅や厚みを調整する。  
⑥棒ヤスリや彫刻刀でデザインを彫る。

⑦アクリル絵の具で着彩、ニスを塗装する。

⑧乾燥させ、完成。

本分科会のテーマである「仲間とのかかわりでよさが広がる表現活動」という観点で本題材を見たとき、一番大きなポイントは「どの指にはめるか」ということである。

指輪というものは、はめる指によって意味が異なってくる。小指は予知能力・直感が鋭くなる。薬指は心臓に一番近い指とされ、聖なる誓いを表す。中指はより高いゴールを目指したいとき、創造的な仕事をするときにもよい。人差し指は活動的になる。自立心が高まる。親指は望みが叶う。といったように様々な意味をもっている。

これからの進路、こう在りたい自分、そんな未来への前向きな意欲と指輪の意味を照らし合わせて、どの指にはめようかと仲間と相談することによって制作へのモチベーションが高まっていった。



### ■ 成果と課題

#### (1) 成果

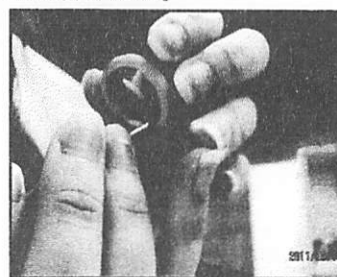
○明るい雰囲気醸成する

指輪というものは嗜好性が高く、個人の好みが反映されやすい。装飾に凝る生徒もいれば、色彩や細工は加えず、規定の大きさのものを自分のサイズにカスタマイズする過程に没頭する生徒もいた。途中でも指にはめて、完成までの制作を楽しんでいた。

#### (2) 課題

○素材として耐久性に限界がある。

木製(桂)なので細工が細かすぎると、幅が薄すぎると割れてしまう。



# 美術科学習指導案

中野区立第二中学校  
教諭 猪口 正和

## 1、題材名「カレッジリング」A表現(2)ウ、(3)ア

### 2、題材の目標

- ① 卒業に際しての思いや指輪のもつ意味をデザインに反映させることを通して、主体的に創造する意欲と態度を高める。A(2)ウ
- ② 自分自身の指に合うように大きさを調整し、デザインの構想を練ることを通して、作品に愛着をもつ。A(3)ア

### 3、題材設定の理由

カレッジリングとはもともとは欧米の文化で、大学を卒業するとき贈られる、各大学のオリジナルリングである。本題材はその「卒業記念の指輪」というコンセプトを土台に、加工のしやすい木材を素材にして、これまでの学習で使用してきた道具（彫刻刀・棒ヤスリ・電動糸鋸・ベルトサンダー・ニス・アクリル絵の具など）を各自が完成のイメージに応じて使い、制作するというものである。実施時期としては3年の2月中旬～3月上旬に、最後の題材として扱うことが最適であると考えられる。

さて、本題材の設定理由は2点ある。

1点目は、3年間ともに過ごした仲間との残り少ない時間を大切にしつつ、ものづくりそのものの楽しさや完成の充実感を味わうことができること。2点目は、受験に伴う欠席にも対応でき、かつ短時間でも仕上がる。そしてシンプルに仕上げることもできれば、細部に凝ることもできることである。

1点目について。指輪というものは、はめる指によって意味が異なってくる。小指は予知能力・直感が鋭くなる。薬指は心臓に一番近い指とされ、聖なる誓いを表す。中指はより高いゴールを目指したいとき、創造的な仕事をするときによい。人差し指は活動的になる、自立心が高まる。親指は望みが叶う。といったように様々な意味をもつとされている。これからの進路、こう在りたい自分、そんな未来への前向きな意欲と指輪の意味を照らし合わせて、どの指にはめようかと仲間と語り合うことによって制作へのモチベーションを高めさせたいと考える。

2点目について。生徒の進路選択やその過程は一人一人異なり、受験日程によっては出席状況にばらつきが生じ、進度に大きな差が出てくる。本題材の制作工程は、中心に空いた1,2cmの孔を自分の指にピッタリ嵌るように削って広げる第一工程(約1時間)と、デザインに応じて彫りを施したり着彩したりする第二工程(約2時間)に分けることができる。仮に全ての授業に出席できなくても、自分の指に合うように、嵌めては外し、嵌めては外しを何度も繰り返し、コツコツと内径を広げていく第一工程のみの取り組みであっても達成感を感じられると考える。時間がある生徒は第二工程で細部にこだわることもできる。

かねてから3年生最後の題材について思うところがあった。義務教育の最終学年であり、生徒によっては、高校で美術を選択しなかった場合、学校で美術を学ぶ最後の機会となる。より心に残る授業はできないかと考えていた。生涯に渡って美術を愛好する心情と感性を育てるという観点からも、最後の授業で身につけるものに思いを込めて制作するという経験は、生徒たちの今後の人生をより豊かにするのではないかと考える。制作に取り組んだ過程を大切にさせ、完成した作品に愛着をもたせることを通じて、生徒が自信や自己有用感を得られるよう指導していく。

## 5、評価規準

評価の観点	ア 美術への関心・意欲・態度	イ 構想・発想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価規準	主体的に制作活動に取り組み、創造する喜びを味わう。	イメージを形にする能力を高める。	イメージに応じて道具を使い分ける。	
学習活動における具体的な評価規準	意味や思いを指輪に込めて、丁寧に制作に取り組み、創造する喜びを味わう。	意図に沿って、デザインや色などの組み合わせを構想する。	デザインや色に応じて、手順を考え、道具を適切に用いる。	

## 6、材料・用具

授業者：生徒個々に配布するもの：円形の木片（直径3,5cm、中心に1,2cmの孔）

ワークシート、画用紙(27×19cm)

共用：リングスケール、棒ヤスリ、彫刻刀、ベルトサンダー

紙ヤスリ、電動糸鋸、透明ニス、クリッパー

生徒：筆記用具、アクリル絵の具

## 7、学習指導計画(全4回)

		学習活動	学習内容および留意点	評価
導入	第1時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カレッジリングの意味を知る。</li> <li>・どの指にはめるか考える。</li> <li>・自分の指輪のサイズをリングスケールで測る。</li> <li>・アイデアスケッチをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の記念の品として制作することを踏まえる。</li> <li>・指輪は、はめる指によって意味や願いが異なることを知る。</li> <li>・金属性と違い、嵌めたとき滑らないので、自分のサイズに2号プラスする。</li> <li>・イメージを形にする。どのような道具が必要か考える。</li> </ul>	発想や構想の能力
展開	第2時～ 第3時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棒ヤスリや糸鋸で木片の中心の穴を自分のサイズに広げる。</li> <li>・ベルトサンダーや糸鋸で幅や厚みを調整する。</li> <li>・棒ヤスリや彫刻刀でデザインを彫る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無理矢理嵌めようとするとなげなくなるので注意させる。</li> <li>・薄くしたものに、彫って裝飾しようとするると割れる恐れがあるので注意させる。</li> </ul>	創造的な技能
仕上げ	第4時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクリル絵の具で着彩、ニスで塗装する。</li> <li>・乾燥させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインに応じてアクリル絵の具を用いる。木目を生かす場合は木調ニス、あるいは透明ニスで仕上げをする。</li> </ul>	創造的な技能

# College Ring

カレッジリングとは、もともとは欧米の習慣で、  
 学校を卒業するときに記念として贈られる指輪のことです。  
 3年間の思いを込めて、自分のために制作しよう。

class name \_\_\_\_\_

## <制作の流れ>

- ① どの指にはめるか決める。
- ② 自分の指輪のサイズを、リングサイズスケールで計る。
- ③ アイデアスケッチ (図1) に指輪サイズの穴を書く。  
 注意! 実際の指輪サイズ+2つ大きいサイズ  
 例: 実際は20号+2つ大きいサイズ=22号の穴  
木製のため、大きめにしないと関節が引っかかり、入りません。
- ④ アイデアスケッチをする。幅や厚みを考える。
- ⑤ 棒ヤスリや糸のこで、穴を自分サイズに合わせて広げる。
- ⑥ 指輪にアイデアスケッチを写す。
- ⑦ ベルトサンダー、糸のこで幅や厚みを調整する。
- ⑧ 棒ヤスリや彫刻刀でデザインを彫る。
- ⑨ アクリル絵の具で着色、ニスで塗装をする。完成

